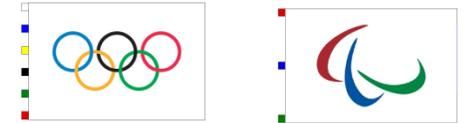


東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアーについて

東京都オリンピック・パラリンピック準備局資料提供

これまでの取組み

- リオ2016オリンピック・パラリンピック閉会式でのフラッグハンドオーバーセレモニーにて小池都知事がリオ市長からオリンピックフラッグ、パラリンピックフラッグを引き継ぐ
- フラッグの到着を記念し、IOC・IPCの許諾を得て東京オリジナルのツアーフラッグを作成
- フラッグツアーアンバサダー（オリンピック・パラリンピアン等）と共にオリンピックフラッグ、パラリンピックフラッグが都内全62区市町村を巡回中
- 復興五輪をPRし、被災地を元気づけるため、全国展開に先駆けて東北被災3県（福島県、宮城県、岩手県）と熊本県で実施



ツアーフラッグ（サイズ：W1.5m×H1.0m）

日本全国での東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアー

競技開催都市を皮切りに、全国を北、南ルートに分け、東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアーを全道府県で実施

主催：東京都、東京2020組織委員会、JOC（日本オリンピック委員会）、JPC（日本パラリンピック委員会）

開催予定時期：平成29年7月～平成31年3月

フラッグ歓迎イベント

オリンピックフラッグ、パラリンピックフラッグをフラッグツアーアンバサダーから自治体代表者が引き継ぐイベント



- ※アンバサダーによるトークショーやデモンストレーション実施
- ※大会スポンサーに配慮しながら既存イベントとの連携も可能

<役割分担>

東京都	開催道府県
<ul style="list-style-type: none"> ・アンバサダー派遣 ・イベントの運営・企画 (司会・運営スタッフ派遣) 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場確保(使用料負担含む) ・イベント出席者(知事・来賓等)調整 ・連携イベントとの調整

道府県内巡回フラッグ展示

オリンピックフラッグ、パラリンピックフラッグ、説明パネル等の展示セットを道府県内の公共施設等で巡回展示



- ※各道府県で1か月程度展開(競技開催都市は2か月程度)
- ※展示場所調整に当たっては、大会スポンサーの配慮が必要

<役割分担>

東京都	開催道府県
<ul style="list-style-type: none"> ・展示用具一式の貸与 ・展示用具の持ち込み、引き取り 	<ul style="list-style-type: none"> ・道府県内区市町村との調整 ・展示巡回の運搬・設置 ・展示期間中のフラッグ安全管理

